

参加者募集

(無料)



第33回 地域を活かす科学技術政策研修会 in 新潟

(分科会B)

『脳といのち』

”脳科学を地域社会の基盤技術に”
～人の生活・医療・産業・政策をつなぐ新潟モデル～

脳科学・神経疾患研究にご関心のある企業・大学等研究機関・医療機関・自治体の皆さまを対象に、脳研究を起点としたワークショップ（分科会）を開催致します。新潟大学ブレインバンクの取組みや研究事例を共有し、医療・教育・産業応用等に向けた脳研究の新たな社会連携を模索していきます。皆さまのご参加をお待ちしています。

開催日時

2026年3月6日（金） 10:00～14:00 受付開始 9:30

会場

新潟大学 旭町キャンパス

新潟大学 ライフイノベーションハブ 2階 会議室

<https://www.ctrc.niigata-u.ac.jp/center/access.html>

参加費 無料

対象 脳科学・神経疾患研究にご関心のある企業・大学・医療機関等
研究機関・地方自治体の皆さま・産学官連携従事者の皆さま

[申込方法] 弊協会（JAREC）のホームページよりお申し込み願います。
以下のURLまたは右のQRコードからもアクセスできます。
定員となり次第締切となります。

https://www.jarec.or.jp/33th_jarec_symposium/moushikomi.html



主催：公益財団法人全日本科学技術協会（JAREC）
共催：国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）
後援：内閣府、新潟県、新潟市、新潟大学、長岡技術科学大学
東北経済連合会、にいがた産業創造機構

事務局：公益財団法人全日本科学技術協会（JAREC）担当 鈴木
Email k-suzuki@jarec.or.jp Tel 03-3831-5911

プログラム

受付 9:30

事務局説明
10:00～10:10

プロローグ
10:10～10:30

[事務局説明] 「分科会の進め方とビデオ紹介」

新潟大学脳研究所「基礎と臨床の融合」編

公益財団法人全日本科学技術協会 (JAREC)

事業推進部 シニア専門職 鈴木 久美子

[プロローグ] 「脳研究所長が語る－新潟大学脳研究のほんとうの価値とは」 (仮)

ブレインバンクを核とするBIHの概要と、臨床・病情報付き凍結脳標本の価値、脳検体について解説します。また脳病態解析分野における先端研究をご紹介します。

新潟大学 脳病態解析分野

教授・研究所副所長 松井 秀彰 氏 博士(医学)

第1部
研究事例紹介

研究事例 1
10:30～11:00

[第1部] 脳疾患リソースから見えてくること

「脳疾患の脳標本から見えてくること

～Brain Pathology & Spatial-Based Medicineから創薬へ～」

本講演では、Charcot以来の病理学の歩みを踏まえ、空間生物学の進展により脳疾患の分子相互作用を可視化し、分子病態解明と創薬へつなぐ最新の道すじを、免疫性神経疾患研究を例にご紹介します。

新潟大学大学院 医歯学総合研究科医学教育センター

新潟大学 医歯学総合病院脳神経内科

准教授 河内 泉 氏 博士(医学)

(プロフィール)

2002年新潟大学大学院医学研究科博士課程修了後、米国ワシントン大学にて自然免疫のメカニズムを研究。を経て、2019年から新潟大学脳研究所 特任准教授、現在に至る。多発性硬化症、視神経脊髄炎、自己免疫介在性脳炎・脳症をはじめとした神経免疫疾患の病態解明と創薬



研究事例 2
11:00～11:30

「ゲノム情報から見えてくるアルツハイマー病」

アルツハイマー病は遺伝要因も関わり、単一遺伝子では説明できません。本講演では、多数の遺伝子情報を数値化するポリジェニックリスクスコア (PRS) を用い、発症しやすさや病態がどこまで分かるか、私たちの取組を交えて紹介します。

新潟大学 脳研究所附属
生命科学リソース研究センター

特任准教授 菊池 正隆 氏 博士(医学)

(プロフィール)

2013年東京医科歯科大学大学院にて学位取得・博士(医学)
大阪大学大学院医学系研究科、東京大学大学院新領域創成科学研究科を経て、2024年から新潟大学脳研究所 特任准教授、現在に至る。



第2部
ワークショップ

ランチョン
ミーティング
11:40-12:20

ディスカッション
12:30-13:50

[第2部] 脳研究から考える社会連携のこんなこと(ワークショップ)

- ランチョンミーティング (自己紹介・関心ごとなど)
- ディスカッション (脳研究から考える社会連携のこんなこと)

・医療・健康 (疾患の克服・未病・リハビリテーション等)
・教育・個人の能力開発 (効率的な学習方法・メンタルヘルスなど)
・社会基盤・産業応用 (AIとデジタル脳・社会性の理解など)
・倫理と未来 (脳神経倫理学)

○まとめ

※解散 14:00